

Caminho [カミーノ]

—美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略—

一緒に夢を叶えよう!



Caminho

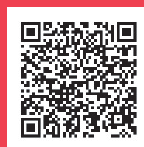
発行: 美濃加茂市

〒505-8606 岐阜県美濃加茂市太田町3431番地1

電話 0574-25-2111

FAX 0574-25-3917

URL www.city.minokamo.gifu.jp/



みのかもで、叶えられる夢がある!



美濃加茂市には、
古くから女性を支えてきた
歴史があった—。

たくさんの女性が行き交ったまちの歴史

むかしむかし、今から約400年前の江戸時代、江戸と京を結ぶ2つの大きな街道がありました。

ひとつは、「東海道」。参勤交代などで、お殿様や武士が通っていました。

そしてもうひとつは「中山道」。大きな川や海がなく、お姫様や女性を通る道として利用されていました。

このような背景から、中山道は別名「姫街道」と呼ばれました。

女性たちに愛された道 女性たちを支えた宿場

中山道にある宿場のひとつが、美濃加茂市にあった「太田宿」です。

ここ太田宿では、女性たちが旅の苦労を共有して励まし合ったり、お互いの夢を語り合ったりしたことでしょう。

そして、まちの人たちも、そんな女性たちを迎え入れ、心をこめて送り出してきました。

そのDNAが、
今、復活します。

まちは、昔から行き交う女性たちの姿を見つめ続けてきました。

女性を元気づけ、時には励まし、安心して歩けるようにサポートする風土や文化。それが美濃加茂市の原点にあるのです。

そして、現代。

美濃加茂市は、女性がほっとできる、そして女性が夢を持ち、自分らしく夢を実現できるまちとして、未来に向けて動き出します。

みのかもで、

女性が笑顔でいられる、女性が輝ける、
女性の夢が叶えられる、そんなまちになるために。
みんなで女性を応援するまちをつくります。

仕事を頑張る女性も、子育て中の女性にも、それぞれのステージ
で自分らしく、イキイキと自分の道（人生）を歩んで欲しい。そんな
想いを込め、多くの女性の意見を聴きながら男性も知恵を絞り、
この『カミーノ』を創刊しました。美濃加茂市は、皆さんの夢の実
現に向けて全力でバックアップをします。一緒に、『カミーノ』を、
『美濃加茂市』を創っていきましょう。

美濃加茂市長 藤井浩人



叶えられる

CONTENTS	市長からのメッセージ.....	5
	がんばる! 女性INTERVIEW	6
	女性が笑顔でいられる暮らし方って?.....	8
	暮らしの“夢”フローチャート	9
	ライフスタイル 自分らしく生きられる。.....	10
	出会い・結婚 家族をつくれる。.....	12
	妊娠・出産 お母さんになれる。.....	14
	子育て 子どもの笑顔を守れる。.....	16
	教育 ふるさとを好きになれる。.....	18
	みのかも・女性のデータ集	20

「Caminho (カミーノ)」は平成27年度から平成31年度までを対象期間とする「美濃加茂市まち・ひと・しごと創生総合戦略」です。10ページから掲載している取り組みや数値目標は、平成31年度までを目標としています。

夢がある。

タイトルに込めた想い

「Caminho (カミーノ)」とは、ポルトガル語で「道」のこと。
かつて「姫街道」と呼ばれた中山道にちなんで、
女性たちが歩いていく長い人生の旅路の中で、
安心して歩ける、夢が叶えられる、ほっとできる、
そんな美濃加茂市になりたいという想いから、
名づけました。
美濃加茂市はブラジル人をはじめとする、多様
な国籍の人が暮らす多文化共生のまちである
ため、より多くの人に親しみを持ってもらえるよ
うタイトルにポルトガル語を使用しています。

がんばる女性! INTERVIEW

美濃加茂市には、さまざまな分野で活躍している女性たちがいます。どんなふうに、どんなことをがんばっているのでしょうか。声を聴いてみました。

起業して感じた「人とのつながり」の大切さ。



パティシエ
後藤希さん
(36歳)

動物性の食材を一切使用しない、素材にこだわったお菓子を製造販売しています。自然食療法で子どものアトピーが治ったことをきっかけに、食物の素材の大切さを伝えたいと起業しました。どうしても自分の力でやりたくて、アルバイトで資金をためて自宅にケーキ工房を開業。起業してからは、周囲への感謝の気持ち、家族と過ごす時間の大切さをさらに強く感じます。まわりに感謝し、自分を信じることで、今の自分があります。

走ることが好きでとても楽しい。練習はつらい時もあるけど、大好きだから続けられます。先生からのアドバイスはすぐに取り入れて実践しています。試合の時には、先生から背中を叩いて気合を入れてもらおうと安心して試合に臨めます。そんな先生に憧れているので、将来は陸上の先生になりたい。今は、下級生に抜かされないように目標タイムを切っていきたいです。



夢大使
美濃加茂東中学校
2年生
安達楓恋さん
(14歳)

走るの大好き!
未来の
トップアスリート

夢大使

美濃加茂西中学校
2年生
井戸アビゲイル
風果さん
(14歳)

テニスなど他のスポーツもやったけど、陸上が一番楽しい。今の目標は 100 メートルを 11 秒台で走ること。長距離ダッシュで体力をつけたり、家の周りを走ったりしています。将来の夢はプロの陸上選手です。試合前には必ずレモンや干し梅などすっぱいものを食べてリラックス。それと、前髪を降ろさないことも勝利のジンクスです。

小さい頃から踊ることが大好きでした。今はファンや家族の暖かい声援や励ましに支えられてダンスをしています。チアドラを卒業してもずっとダンスに関わっていきたいと思っています。仕事で名古屋に行っても、すぐに美濃加茂市が恋しくなってしまうほど、美濃加茂市が大好きです。

夢大使

チアドラゴンズ
武市祐依さん
(19歳)



チアでみんなを
元気に!

夢大使

チアドラゴンズ
福井あかりさん
(19歳)

恥ずかしがり屋を克服するためにダンスを始めました。今では自分の人生にダンスがないことが考えられないくらい夢中です。自分のダンスで人を笑顔にしたい、感動させたい、踊る楽しさを伝えたい。「やりたいことは自分で決めて最後までやりなさい」という母の言葉を胸に、ダンスを続けていきます。

夢大使とは…

美濃加茂市にゆかりがあり、様々な分野の第一線で活躍している人のうち、美濃加茂市民に夢と希望を与えてくれる人、また美濃加茂市の魅力を自身の活動をととして多くの人に伝えてくれる人を市長が「もっとみのかも夢大使」として委嘱しています。

ライフオーガナイザー
服部ひとみさん
(33歳)

ライフオーガナイザーとは、個々に合った生活の時間や空間を整えることを導き、見つけ出す仕事です。子育てと仕事の両立には、まず自分と家庭を整えることが大切。家族の協力の中で空間・時間を整えていく化し、心地よく働いています。今しているPTAの役員も「忙しいから…」と断ることもできました。でも自分の勉強になり、社会の役に立てるなら嬉しい。何に対しても「やらされているのではなく、やる」意識を大切にしています。



赤ちゃんに会うのが
とっても楽しみです。



1人目のお子さんを
妊娠中
米澤千春さん
(30歳)

出産がとても楽しみで、出産や育児の不安はまったくありません。子どもは2人欲しいので、仕事への復帰はそれから考えるつもりです。今は早く赤ちゃんに会いたい。赤ちゃんの匂いを思い切り嗅ぐのが、今から楽しみです。小さいころからアウトドアが大好きで、自分も色々な体験をしてきました。子どもと一緒にキャンプに行きたいし、美濃加茂市ならではの自然体験をたくさんさせてあげたいです。

時間、空間を
整えて、
心にゆとりを。

女性が
笑顔でいられる
暮らし方って？

仕事もプライベートも
充実させたい！
毎日、なかなか上手く
いかないけれど…。

いつかは結婚したいし、
子どももほしい。
でも、出会って
どこにあるの？

もっと、
自分のいろんな力を
磨きたい。
成長したい。

私は
「理想のお母さん」に
なれているかな。

子どもの将来のために、
良い環境で
子育てしたいなあ。

自分で
仕事してみたい。
私の背中を押してくれる
何かがほしい！

誰かに、
私の話を聞いてほしい。
聞いてくれるだけで
いいんだけど…。

家庭でも職場でも、
やることいっぱい。
女性にいろんな負担が
かかっている
気がするよ～。

女性たちのいろんな心の声。

誰もが一度は、こんなことを考えたことがあるのではないですか。

毎日の生活の中で、ちょっとずつ浮かんで消える、様々な想い。

思い出したり、忘れたりしながら、日々が過ぎていきます。

「夢」というと、将来実現したいと思う大きな事業や仕事、というように思えるけれど、
日常の中で現れる「こんなふうになりたい」「こんな生き方・生活がしたい」という想いも、

一つの「夢」と言ってもいいかもしれません。

日々の幸せが積み重なって実現する「夢」。

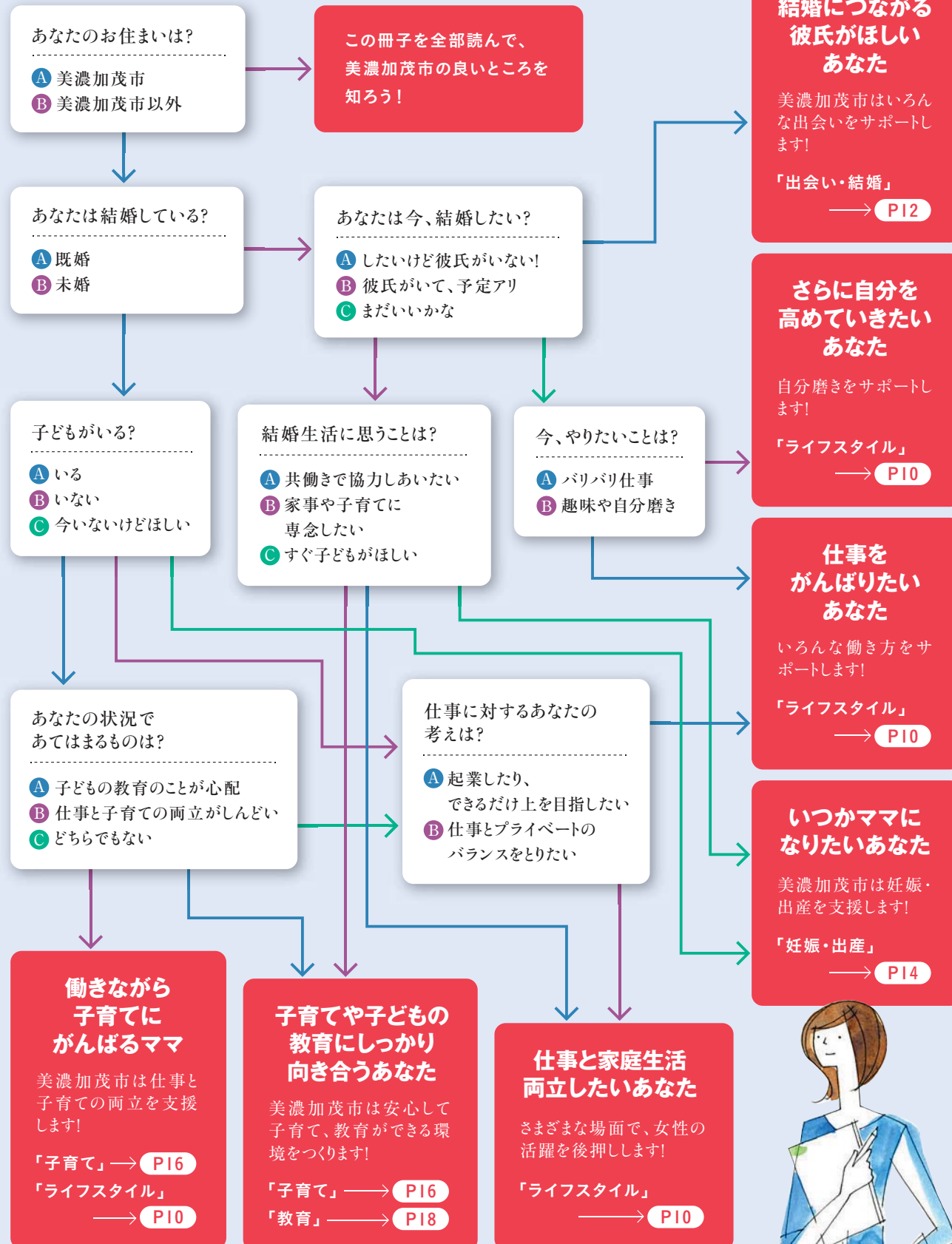
美濃加茂市では、そんな女性たちの夢の実現を、後押ししたいと思います。

美濃加茂市で一緒に
みなさんの“夢”を実現しませんか？

暮らしの“夢”フローチャート

今のあなたに必要な取組や支援が見つかるかも。あなたの状況に対応した該当ページへGO！

\ START /



自分らしく生きられる。



充実したライフスタイルを送る
女性の割合を増やします。

(出典：第5次総合計画意識調査＜今の暮らしについて思うこと＞)

みんなのつぶやき

- ・美濃加茂市に定着するためには、近くに働く場があることが必要なんじゃないかな。(30代男性)
- ・美濃加茂にしかない会社をつくってみては？(ブランド化独占企業みたいなもの)(20代男性)
- ・ママが子連れで働ける環境がほしい！(PTA関係・母親)
- ・育児休暇を取りやすい企業が増えてくれるといいなあ。(PTA関係・父親)
- ・お父さんも積極的に育児に関わることができる雰囲気のある職場が増えるといいな。(PTA関係・父親)
- ・仕事もしっかりしたいけど、育児時間もしっかり取りたい！(看護学生)

「仕事」 事をする」は、収入を得て生活を安定させること以外にも、社会に貢献していくことにつながります。仕事にかかわらず、女性が社会や地域と関わり続けていくことはとても大切なこと。「子育てしながら仕事を続けるのは大変」「育児休業後の職場復帰、大丈夫かな？」など、仕事や社会参加に関して女性が持つさまざまな不安や悩みを解消し、自分らしい人生を歩むことを支援していきます。

夢へのチャレンジを支援します。

起業しやすい環境の整備

- 新しくお店を持ちたい、新しい仲間をつくりたいなど女性の意欲を支援

し、夢の実現をサポートします。(姫Biz、クラウドファンディングなど)

- 様々な業界・分野で活躍している女性たちの発表の場を創出し、女性が輝ける風土づくりを支援します。

- 新規就農、新商品の開発、国内外への販路拡大など、夢のステップアップの実現を支援します。(JETRO：日本貿易振興機構などとの連携)

ワーク・ライフ・バランスを実現します。

仕事とプライベートの両立の支援

- プライベートを充実させるために、有給休暇等取得しやすい企業を支援します。(企業の有給休暇取得率の支援)
- 様々なニーズに対応できるプライベートを充実させるための講座や教室を開設します。(生涯学習講

座、大人版 MT 夢クラブなど)

- 地域活動などに参加することで地域との絆を深めるとともに、社会に貢献することで心豊かなライフスタイルを送ることを支援します。(ボランティア活動情報の提供など)

「働きたい」想いを叶えます。

女性の就職、職場復帰の支援

- 女性の就職に関する情報を分かりやすく、見やすく提供します。(ハローワークとの連携、女性のための就職案内サイトの充実)
- 男女がともに育児に関わることを積極的に進め、女性が職場に復帰しやすい環境をつくるとともに、男性の育児休業等の取得を支援します。



こんなことはじめます！

女性の夢の応援団「姫Biz」

「姫Biz」は、美濃加茂市で女性の起業を支援する活動を行っています。起業したい、または起業をした後のことが不安…そんな様々な相談に応じています。相談は女性スタッフが日替わりで担当し、プライバシーが守られる独立した空間で相談できる環境をもうけています。美濃加茂市には、「何か始めたい」「自分で仕事を始めたい」、そんな気持ちを持っている女性の背中を押して、応援してくれる場所があります。

家族をつくれる。



婚姻件数(年あたり600件)を維持します。

(婚姻件数の維持 出典:市民課戸籍調)

みんなのつぶやき

- ・私って将来結婚できるのかなぁ。そもそも結婚相手に出会えるの？(大学生)
- ・未婚者が参加できるイベントとか、出会いの場があるといいな。(PTA関係・父親)
- ・若い人が行きたくなるようなおしゃれな場所がたくさんほしい！(20・30代 女性)
- ・美濃加茂市には若者が集まれる場所がないんじゃない？(PTA関係・父親)
- ・「出会い」「婚活」に関わらず、構えないで行けるところがあるといいんだけど…。(20・30代 女性)
- ・父親のような人と結婚して、自分が育ってきたような家庭をつくるのが夢！(大学生)
- ・結婚しても生活していくことできるのかな？(大学生)

学

生ワークショップでは、あんな家庭をつくりたい、こんな夫婦が理想…など、結婚することに夢を持っている人がいる一方で、「彼氏もいないし、結婚相手に出会えるのかな？」そんな不安を持っている女性も多かったです。「独身でもいい」、「結婚しても、ちゃんと生活ができるか不安」など、結婚そのものに前向きな気持ちを持っていない人も。結婚は、必ずしなくてはいけないものではないけれど、誰かと出会って恋をして、家族になっていける。そんな出会いがたくさんあるまちっていいと思いませんか？

いろんな「出会い」があります。

多彩な交流機会の創造

- 自然体験（ウォーキングなど）、スポーツ活動（野球、ダンスなど）、農業体験（なし・柿、さといも、米など）、趣味（旅行など）の中で、多くの人があつまり、新しい出会いをつくります。（岐阜県：婚活大作戦タイアップなど）
- 懐かしい人との再会、同年代で集まる機会をつくることで、再びめぐり合う機会を支援します。（成人式など）

いつも、誰かと話せる場所があります。

交流スペースの整備

📍 昼はカフェ、夜は大人の交流スペース

スとして仮称：Caminho Garden（ふれあいの交流拠点）をつくり、いつでも、誰でも心豊かに話せる場所を提供します。

- まち全体が交流スペース（中山道、中之島公園、日本昭和村など）になるようなイベントを企画・開催します。

自分を、もっと好きになれます。

「自分磨き」の促進

- お互いに思いやれるゆとり、良好な人間関係を築くためのコミュニケーションスキルを学び、新しい出会いに繋がれるようにします。（恋愛講座など）
- 自分に自信が持てるように、スキルアップを支援します。（メイクアップ教室、おしゃれ教室など）



こんなことははじめます！

わくわくする空間を提供「Caminho Garden」

広場にたくさんのワゴンが並び、昼は屋外のカフェ空間、夜はお酒を楽しめる大人の空間になる、そんな交流の場所「Caminho Garden」を開催します。ここでは誰もが自由にその場所の雰囲気を楽しみ、新しい人に出会い、ゆったりと過ごすことができます。子どもとお散歩のついでにふらっと立ち寄れる場所。週末に恋人と、仕事帰りに友達と、ちょっとだけ寄って会話を楽しめる場所。つい行きたくなる、そんなわくわくするお気に入りの空間を、日常生活の中につくります。

お母さんになれる。



生まれる赤ちゃんの数(年あたり500人)を維持します。

(出生数の維持 出典:市民課戸籍調)

みんなのつぶやき

- ・不妊治療の支援をしてもらえるとうれしいな。(PTA関係・母親)
- ・身近に不妊治療ができる病院がほしいんだけど…。(PTA関係・父親)
- ・ママになれない気がして不安…。(看護学生)
- ・産婦人科を増やしてほしいよ～。 (PTA関係・母親)
- ・子どもは3人欲しいけど、経済的に大変になるので迷ってる。3人目を持つなら年齢的にも早くしないと難しいかも。(1歳6か月児・母親)
- ・経済的に難しいけど、できれば子どもは3人ほしい! (1歳6か月児・母親)

全

国的に、平均初婚年齢や、女性の第1子出産年齢が上昇しています。仕事のタイミングや経済状況、年齢など、いろんなハードルがあって、子どもを持ちたいと思っても、願いが叶えられない家庭も多いもの。特に女性は、体のことや心のこと、まわりの環境など、いろんな心配ごとを抱えながら「妊娠」「出産」と向き合っているのではないのでしょうか。

「子どもを持ちたい」「あきらめたくない」、一人でも多くの女性のそんな願いを叶えられるよう、手助けしていきます。

「子どもがほしい」気持ちに寄り添い、応援します。

不妊治療に対する支援

- 子どもがほしいけれどもできない、そんな女性の不妊治療にかかる費用を助成します。(特定不妊治療費助成、一般不妊治療費助成、岐阜県：男性不妊治療費助成)
- これから妊娠を希望する人や、妊娠・出産に不安を感じている人のために、一人ひとりの気持ちに寄り添った不妊や妊活などの情報をそっとお伝えします。

妊娠・出産する女性を孤立させません。

安心できる妊娠、出産への支援

- 妊娠～出産～子育て～教育まで、

切れ目なく安心できるように、いつでも相談できる仕組み・制度をつくります。(美濃加茂市版ネウボラなど)

- 母子手帳を発行するときに配布するパパスイッチオン(岐阜県版父子手帳)を使った講座を開き、イクメン・カジダンのパパを増やします。

「2人目、3人目がほしい」希望を叶えます。

子育て家庭の精神的負担へのサポート

- 子育てしながらでも働きやすい環境をつくるため、子育てに優しい企業を支援するしくみをつくります。
- 男性の産前産後休暇・育児休暇・看護休暇の取得を支援し、女性が安心して出産・子育てできるようにします。



こんなことはじめます!

子ども・子育てを切れ目なく支援。美濃加茂市版「ネウボラ」

子育てしやすい国と言われるフィンランド。そこで進められている取り組みが「ネウボラ」です。「ネウボラ」とは、フィンランド語で“アドバイスする場所”という意味。1人の保健師が子育てする家庭と信頼関係を築きながら、妊娠、出産、育児を切れ目なく継続的に支援するのが特徴です。このような切れ目ない支援を、美濃加茂市でも始めます。妊娠している女性や子育て中の女性が、いつも誰かに相談でき、不安なく出産・子育てに臨めるようにするために、身近なところで保健師さんがサポートします。



こんなことはじめます!

子どもや子育てに優しい職場風土づくり

子育てしやすい社会にするためには、仕事と子育てを無理なく両立することが必要です。そして、そのためには人々が働く企業の職場風土が、子育てにやさしくなければいけません。市では、市内の子育てしながら働くパパ・ママを応援する企業を調査し、それらの企業を支援することで、子育てに優しい社会づくりを進めます。

子どもの笑顔を守れる。



子どもを持つ世帯の
平均子ども数1.73人を維持します。

(出典: 国勢調査[18歳未満世帯員のいる世帯の18歳未満世帯人員数の平均値。
世帯推計に基づく2020年の推計値は1.64人。])

みんなのつぶやき

- ・希望する保育園に入れるかどうか、今から心配。(1歳6か月児・母親)
- ・子ども達に、自然の中での遊び方を知ってもらう機会をつくりたい!(20・30代 女性)
- ・森のようちえんが子育ての理想のかたちかな。(30代男性)
- ・子どもを元気に自然の中で遊ばせたい!(PTA関係・母親)
- ・市外や県外から転入してきても、子育ての不安が解消できたり、コミュニケーションをとれる場所がほしいな。(PTA関係・母親)
- ・いろんな世代で交流できる乳幼児学級があるといいな。(PTA関係・母親)
- ・保育園で、里山や川遊び、森のようちえんなど地域の資源を活用した遊びをさせたい!(保育士)

子どもが元気いっぱいに遊べることは、子育て中のお母さんにとって、何よりもうれしいもの。「子どもたちを自然の中で遊ばせたい」「少しくらい転んでも、いろんなことを学んでほしい」。そんなふうに考えている人も多いのではないだろうか。また、最近は共働きなどによって、子どもを保育所に預ける必要がある家庭も増えています。どんな状況にあっても、美濃加茂市で育つ子どもたちが笑顔で元気であることを。それを何よりも大事にしていきます。

自然の中で、子どもがのびのび遊べます。

子どもの遊び場や自然環境の整備

- 豊かな自然を活かした特色ある保育・幼児教育をすることで、子どもがのびのびと遊べる環境を整えます。(森のようちえん、認定こども園など)
- 子どもたちがいつでも遊べる自然豊かな公園など(みのかも健康の森、中之島公園、下米田さくらの森)を整備します。

安心して子どもを預けられる場所があります。

保育環境の整備

- 子どもたちの成長にとって最適な規

模・理想の環境の保育園をつくります。(認定こども園など)

- 保育士さんを増やすなど、充実した保育を行い、保護者が安心して預けられる保育環境をつくります。

子育てにみんなが協力する風土をつくります。

子育て支援の促進

- 3世代同居・近居を支援し、おじいちゃん、おばあちゃんとのふれあいを大切にしながら、お父さんやお母さんの負担を軽減します。
- 自然遊びやスポーツ、虫とり・木登りなど、お父さんが子どもと一緒に遊び・学べる機会をつくり、子どもにとっての「尊敬されるお父さん」「カッコいいお父さん」を増やします。

こんなことはじめます!

「森のようちえん」で子どもたちが学ぶこと

子どもたちが自然にふれあうことの効果には何があるでしょう。自分の体を使って自然の中で遊ぶことで、運動能力が高まります。また、生き物にふれることで命の大切さを学んだり、どのようなことが危険なのかを知ったりすることができます。すべての自然環境が園舎になる「森のようちえん」は、子どもたちが森や山や川などの自然とふれあうことで人間の成長に必要なさまざまな要素が育つ場所なのです。美濃加茂市では、地域の里山環境を生かして、「森のようちえん」を始めています。



ふるさとを好きになれる。



親子でたくさん会話する家庭の割合を
76.4%から80.0%に増やします。

(出典:文部科学省「生活習慣や学校環境に関する質問紙調査」
家の人と学校での出来事について話をしている児童生徒の割合)

みんなのつぶやき

- ・ふるさとを“じまん”できる子どもを育てたい！(PTA関係・父親)
- ・体験授業や子どもの自立を促すようなサポートや教育があるといいなあ。(PTA関係・母親)
- ・子どもたちには、美濃加茂市に住んでよかったと思ってほしい。(30・40代 女性)
- ・多文化交流を活発に行うのもいいんじゃない？(40・50代 男性)
- ・まちの歴史・文化やお祭りを子どもたちが学ぶことは、将来、地元に戻ってくるきっかけになるかもしれないね。(30・40代 女性)

これから、美濃加茂市の外に出て、世界を舞台に活躍する子どもたちも出てくるでしょう。広い世界の中でも、子どもたちが夢をつかむことができる力をつけていくことが大事だと考えます。しかし一方で、地域でも、世界でも、子どもたちがどこにいても、お父さん、お母さんが願うことは、「子どもたちに元気に暮らしてほしい」ということ。自分の家族や育ったまちに大切にしてもらった記憶と、大好きな「帰る場所（家族や地域）」は、子どもたちが生きていく中で、かけがえのない財産になることでしょう。

From0歳プランとは

美濃加茂市が平成14年度から進めている学校や地域住民の手で、誕生から18歳以上まで一貫して子どもの教育を行う取組です。

家庭や地域を大切に 思う子どもを増やします。

ふるさと教育の推進

- 中山道太田宿、堂上蜂屋柿などの生まれ育ったまちの文化や歴史、坪内逍遙、津田左右吉などの偉人を学び、子どもたちがふるさとのことを誇れるようにします。
- 子どもたちが生まれてから18歳になるまで一貫した教育を積み重ねることで、勉学の向上、家族への思い、地域への愛着を育てます。(From0歳プランなど)

地域や企業と一緒に、 子どもの教育を 進めます。

キャリア教育の推進、 子どもたちの地域参加の促進

- 子どもたちが地域探検をして魅力を見つけるなど、子どもの視点で楽しめるイベントを企画したり実施した

りできる機会をつくり、子どもたちが地域や社会に役立つ大切さを実感できるようにします。

- 子どもたちが地元企業をより身近に感じることができるよう、市民や子どもたちと地元企業とをつなげる機会を増やします。(工場参観日など)

子どもたちの “夢を実現する力”を 育みます。

グローバル人材の育成

- 国際色豊かなまちで日常的に英語に触れ、多文化を学び、国際的な視野を拓けることで、海外でも活躍できる子どもを育てます。(話せる英語教育など)
- 最先端技術に触れ、最新の情報を知り、各分野の第一線で活躍する人の声を聴くことで、子どもたちの“夢を実現する力”を育てます。(地域活性化スクール、夢先生など：次頁コラム参照)

こんなことはじめます！

がんばれ高校生！「地域活性化スクール」

「地域活性化スクール」は、平成25年度から美濃加茂市の職員プロジェクトチームが進めている取り組みです。地域で活躍する大人による仕事上のリアルな話やおもしろい話を高校生が聞く「カッコいい大人座談会」などを開催し、高校生が将来の仕事のイメージを持ったり、美濃加茂市で働くことを考えたりすることにつながっています。「地域活性化スクール」では、高校生が「こんなことしてみたい！」「こんな人に会いたい！話を聞いてみたい！」と思う気持ちや想いを原動力にして活動しています。



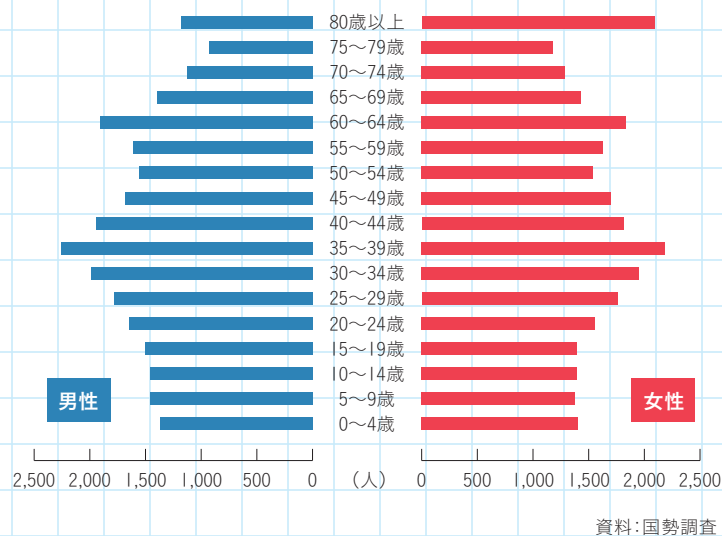
みのかも・女性のデータ集

「女性」という観点で、美濃加茂市の統計を見てみましょう。

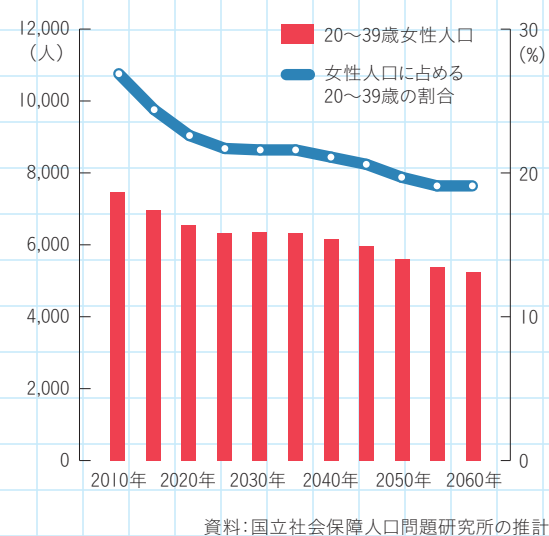
人口

美濃加茂市の人口は、平成 22 年の国勢調査によると、54,729 人。そのうち、女性は 50.6%を占めています。女性は男性よりも平均寿命が長いので、高齢になるほど、女性の人数が男性よりも多くなります。また、妊娠・出産する可能性が高い 20～39 歳の女性人口は、これから減っていく見込みです。

人口ピラミッド



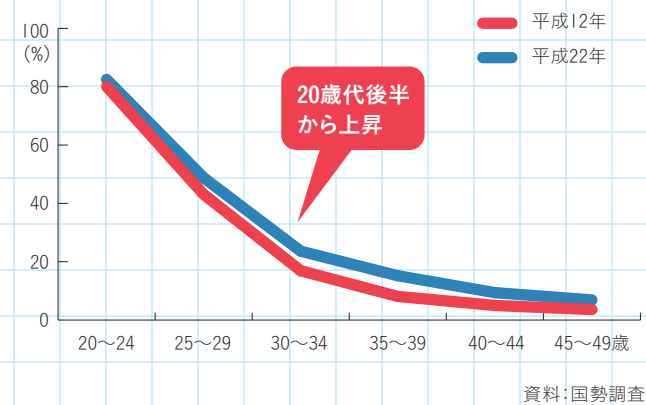
20～39歳女性人口の推移



結婚の状況

美濃加茂市の 20 歳代～40 歳代の女性の未婚率は、平成 12 年と平成 22 年を比較して、すべての年齢層で上昇しています。30 歳代前半では 23.6%が、30 歳代後半では 15.2%が未婚となっており、特に 30 歳代後半で未婚率が上がっています。美濃加茂市でも晩婚化の傾向がみられるようです。

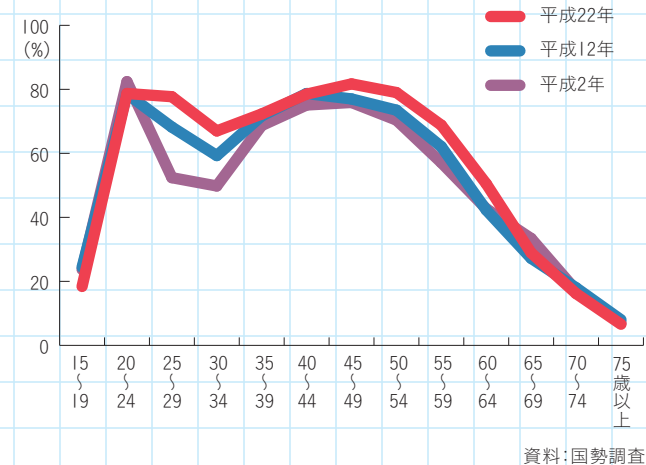
女性の年齢階層別未婚率の推移



仕事の状況

美濃加茂市の女性の労働力率をみると、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇する、いわゆる「M字カーブ」を描いています。平成 2 年、12 年、22 年と、年を追ってみると、20 歳代後半から 30 歳代前半にかけての労働力率が上昇しているものの、まだM字カーブは解消していません。結婚・出産期に当たる年代の労働力率が上昇している背景には結婚・出産後も働き続ける女性が増えたことや、晩婚化・晩産化の傾向、未婚者の増加などが影響を与えていると考えられます。

美濃加茂市の女性の労働力率

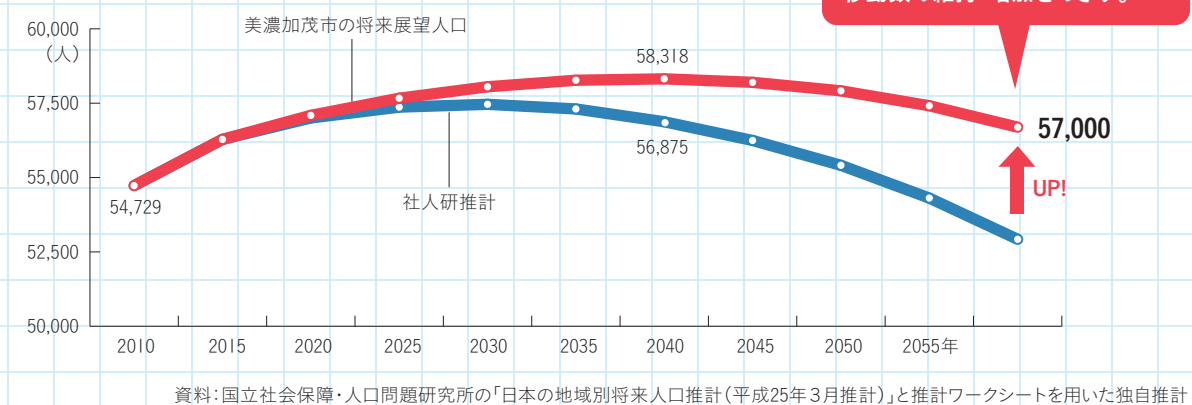


美濃加茂市がめざす「将来展望人口」

美濃加茂市は、2060年の人口57,000人をめざします！

美濃加茂市は今も人口が増加し続けており、すぐに人口減少するまちではありません。でも、このまま何の対策もとらない場合、人口構造が変化し、年少人口割合の減少、老年人口の増加が進むこととなります。そのため、美濃加茂市では毎年 500 人の出生数を維持するとともに、出生数を増加させるため、若い世代（特に若年女性）の転入を継続させることで、2060 年の人口 57,000 人をめざします。

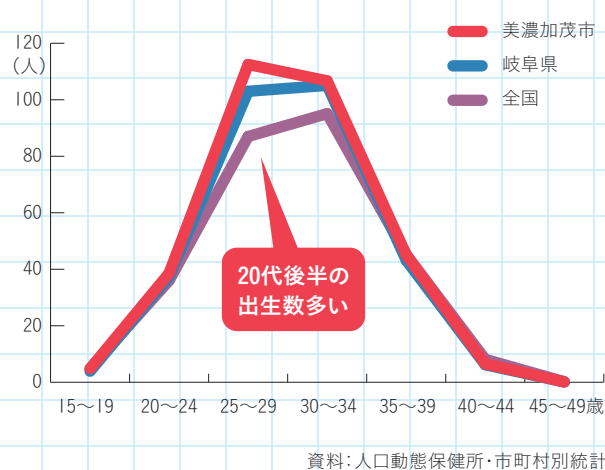
美濃加茂市の将来展望人口



出生・死亡の状況

女性千人あたりの出生数を年齢別にみると、美濃加茂市では全国、岐阜県と比較して 20 歳代後半から 30 歳代前半での出生数が高くなっています。美濃加茂市の女性は全国、岐阜県に比べて第一子出産が少し早いようです。また、1 人の女性が一生に産む子どもの数を示す合計特殊出生率は全国、岐阜県と比較して高い状況にあります。でも、人口を維持していくために必要となる数値は 2.07。この値にはまだ届いていません。

女性千人あたりの出生数の比較(H20年～24年)



合計特殊出生率の推移

